ゆっくり走ろう北海道

飲酒運転根絶ロゴマーク

No.181　公益社団法人 北海道交通安全推進委員会

新年を迎えて

公益社団法人北海道交通安全推進委員会
会長　吉本淳一

新年あけましておめでとうございます。

昨年は一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な活動が制限される中、北海道、北海道警察をはじめ関係機関・団体の皆様と連携を図り、各種啓発活動や交通事故防止のための事業を創意工夫しながら展開してまいりました。

そうした取組により、一昨年に比べ交通事故死者数は減少することができましたが、残念ながら交通事故件数、負傷者数は増加する結果となりました。

このような状況の中、当委員会では、特に重大な交通事故になりかねない飲酒運転を根絶するための取組として、飲酒運転根絶アンバサダーの「やべーべや」をモチーフにした啓発用ポスターやチラシ等の作成・配布を行うとともに、札幌駅前大型ビジョンでメッセージを放映するなど様々な角度から飲酒運転の根絶を呼びかけました。

また、今年度三回目を迎えた「飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール」に加え、新たに学生を対象としたＰＲ動画コンテスト、さらには地域において飲酒運転根絶を宣言する飲食店に協力をいただく登録制度についても地域を拡大して展開するなど、地域・職場・学校・家庭が一丸となって北海道から飲酒運転を根絶するための取組を行っております。

この他、市町村と連携し、高齢者などへの反射材の普及促進や、全道の新小学生、新中学生、新高校生向けの「自転車安全啓発リーフレット」の作成・配布、各種研修やＤＶＤ教材の貸出など、交通安全事業を幅広く実施してまいりました。

会員の皆様をはじめ、関係機関の皆様のこれまでのご協力に感謝申し上げますとともに、コロナ禍を通じて、命を守るための思いやりや、社会のルールを守ることの大切さを道民の皆様とともに痛感した今、交通事故のない安全で安心な北海道を目指して、本年も一層、取組を行ってまいりますので、皆様の引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、関係各位の皆様のご健勝とご発展を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭所感

北海道知事 鈴木直道

新年明けましておめでとうございます。皆様とともに新しい年を迎えられたことを大変うれしく思います。

北海道交通安全推進委員会の皆様におかれましては、日頃から、道内の交通安全運動の推進にご尽力いただき、交通事故防止に大きな成果を挙げられていることに深く敬意を表しますとともに、道の交通安全行政に格別のご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染者数が増減を繰り返す予断を許さない状況が続き、社会経済活動に大きな影響が及びました。皆様には、長期にわたり多大なるご理解とご協力をいただいたことに、深く感謝申し上げます。

一方で、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたほか、東京オリンピックのマラソン・競歩競技に先立ってアイヌ舞踊が世界に発信されるなど、本道が有する価値が国内外で大きな注目を集めた年となりました。

交通安全対策については、交通事故死者数はピーク時の昭和46年の889人と比べて7分の1以下にまで減少しているものの、依然として多くの方々が痛ましい交通事故の犠牲となっていることは誠に残念でなりません。

交通事故のない安全で安心な社会の実現は全ての道民の願いです。

道では、今年も「ストップ・ザ・交通事故 ～めざせ 安全で安心な北海道～」を年間スローガンに掲げ、道民の皆様や関係機関・団体の皆様と共に、より効果的な交通安全運動を推進し、交通事故のない安全で安心な社会の実現を目指してまいります。

特に、飲酒運転による交通事故が未だに後を絶たないことから、「飲酒運転をしない、させない、許さない」というスローガンに、「そして見逃さない」という社会の目を広げるメッセージを追加して、啓発活動の強化を図るとともに、根絶に向けた環境づくりを進めてまいります。

皆様におかれましては、交通事故の更なる減少に向け、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が、希望に満ちた年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭所感

北海道警察本部長 扇澤昭宏

明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中、公益社団法人北海道交通安全推進委員会の皆様には、交通安全活動を始め、警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜りましたことに対し、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、貴委員会を始めとする団体や関係機関と連携した活動は、中止や規模の縮小を余儀なくされたところでありますが、そのような情勢においても、皆様には、感染拡大防止に配意しながら、交通安全活動を推進していただきました。

特に、貴委員会の皆様方には、北海道における交通安全運動の中核として、各期の交通安全運動への取組を始め、「飲酒運転根絶の日」における決起大会の開催、「飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール」の実施など、飲酒運転根絶に向けた社会環境作りに取り組んでいただいたほか、自転車安全利用五則を盛り込んだリーフレットの配布により、自転車安全利用の促進を図るなど、道民の交通安全意識の醸成に努めていただき、重ねてお礼を申し上げます。

さて、道内における交通事故情勢でありますが、昨年、交通事故により亡くなられた方は、前年より24人少ない120人と、北海道の交通事故統計の記録が残っている昭和22年以降で過去最少の死者数となりました。

これもひとえに、貴委員会を始めとする団体や関係機関、地域・職域の皆様の長年にわたる地道な交通安全の取組が実を結んだものと拝察しているところであります。

しかしながら、未だ多くの方々が交通事故の犠牲となっておりますことから、北海道警察といたしましては、本年も「交通死亡事故の更なる減少」のため、飲酒運転や速度違反など、交通事故に直結する悪質危険な交通違反の取締りを始め、子供と高齢者の安全確保やシートベルト全席着用等に向けた施策を強力に推進してまいります。

皆様方におかれましても、交通死亡事故の更なる減少に向けて、今後も引き続き、交通安全活動に御尽力賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、公益社団法人北海道交通安全推進委員会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。

令和4年における交通安全運動の推進方針（概要）

運動の目的	道民の交通安全意識を高め、交通事故を防止する。
年間スローガン	**ストップ・ザ・交通事故　～ めざせ 安全で安心な北海道～**

交通安全運動の重点	子供と高齢者の安全確保	○ 歩行者を最優先とする保護意識の醸成を図る広報啓発活動、自ら安全を守るための交通行動を促す交通安全教育を推進する。 ○ 街頭における交通安全指導と交通ルールを身につけるための交通安全教室等を推進する。 ○ 登下校時の安全確保のための関係機関・団体による通学路の安全点検と保護・誘導活動を推進する。 ○ あらゆる機会に高齢者の行動特性を理解した交通安全意識の向上を図る広報啓発活動を推進する。 ○ 高齢者が個々の身体機能を自覚した安全な交通行動となる交通安全教育や高齢者宅への訪問活動等による交通安全指導を推進する。 ○ 運転免許証の自主返納者への支援に関する情報の提供や安全運転サポート車の普及促進のための広報啓発活動を推進する。
	飲酒運転の根絶	○ 悪質な犯罪である飲酒運転の根絶に向けて、「飲酒運転をしない・させない・許さない」という規範意識の醸成と「そして見逃さない」という視点をもって広報啓発活動を推進する。 ○ 飲酒疑似体験の交通安全講習や就業前後における飲酒状態の点検等の普及活動を推進する。 ○ 「飲酒運転根絶ロゴマーク」やハンドルキーパー運動、「飲酒運転ゼロボックス」を周知するなど、飲食店や酒類販売店等と連携した広報啓発活動を推進する。 ○ 飲酒運転に関する情報提供の促進を図り、飲酒運転を見逃さない「社会の目」の一層の拡大を推進する。
	スピードダウン	○ 速度の出し過ぎによる危険性を周知する広報啓発活動を推進する。 ○ 思いやり・ゆずり合いの心を持った運転意識の醸成に向けた広報啓発活動を推進する。 ○ ドライビングシミュレータ等を活用した安全速度の遵守に向けた交通安全教育を推進する。
	シートベルトの全席着用	○ 後部座席を含めた全席でのシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の効果についての広報啓発活動、着用率向上に向けた取組を推進する。 ○ 各種資器材を活用したシートベルト非着用の危険性の認識向上に向けた交通安全教育を推進する。
	居眠り運転の防止	○ 長距離運転における休憩の呼びかけなど居眠り運転事故防止に向けた広報啓発活動を推進する。 ○ 交通安全講習、研修会等において居眠り運転防止に向けた交通安全教育を推進する。 ○ 道の駅、コンビニエンスストア等の駐車場を休憩場所に提供する「居眠り運転防止協力店」や観光施設と連携した広報啓発活動を推進する。
	自転車の安全利用	○ 自転車は「車両」であるということの周知を図るための広報啓発活動を推進する。 ○ 自転車シミュレータや自転車安全利用五則等の活用による自転車の交通ルールとマナー向上に向けた交通安全教育や広報啓発活動を推進する。 ○ 乗車用ヘルメットの着用、自転車損害賠償保険等への加入に向けた広報啓発活動を推進する。
	安全意識の向上	○ 夕暮れ時・夜間の交通事故実態及び危険性を周知し、反射材用品等の着用促進を図る広報啓発活動を推進する。 ○ 昼間の点灯を呼びかけるデイ・ライト運動や夜間におけるハイビームの活用に向けた広報啓発活動を推進する。 ○ 「ながら運転」や「あおり運転」の危険性を周知する広報啓発活動を推進する。

	運動名	春の全国交通安全運動	夏の交通安全運動	秋の全国交通安全運動	冬の交通安全運動
期別運動	実施期間	4／6(水)～4／15(金)	7／13(水)～7／22(金)	9／21(水)～9／30(金)	11／13(日)～11／22(火)
	セーフティコール	4／6(水)	7／13(水)	9／21(水)	11／11(金)
	期別運動の方針	○ 新入学（新学期）を迎える子供や活動期に入る自転車利用者の事故防止を図るための活動等を推進する。	○ 観光・夏型レジャー等に伴う事故防止、バイクによる事故防止及び飲酒運転根絶を図るための活動等を推進する。	○ 夕暮れ時と夜間の高齢歩行者・自転車の事故防止等を図るための活動等を推進する。	○ 凍結路面でのスリップ事故防止等を図るための活動等を推進する。
	重点項目	○ 春・秋の運動においては、全国交通安全運動推進要綱の運動重点に準じ、必要に応じ北海道独自の項目を定める。 ○ 夏・冬の運動においては、北海道の地域特性、交通事故の発生状況・特徴等を勘案する。			

交通安全の日等の運動	飲酒運転根絶の日	7月13日(水)	道民の飲酒運転根絶の気運を高めるため、広報啓発活動を実施する。
	交通事故死ゼロを目指す日	4月10日(日)、9月30日(金)	交通事故死ゼロを目指し、住民集会などの啓発行事や期別運動のセーフティコールに準じた広報啓発活動を実施する。
	道民交通安全の日	毎月15日	道民の交通安全意識の高揚を図るため、期別運動のセーフティコールに準じた広報啓発活動を実施する。
	自転車安全日	毎月第１及び第３金曜日	自転車の安全利用と事故防止を図るため、自転車利用者を対象に街頭指導、啓発活動等を実施する。
	その他の交通安全の日	無事故の日(6/25) バイクの日(8/19)	地域独自の交通安全の日等に、地域・職域の実情に応じた広報啓発活動を実施する。
特別対策		「交通死亡事故多発警報」や「飲酒運転根絶緊急対策」の発表時に地域住民等へ緊急かつ効果的な広報啓発、住民集会、街頭指導等を実施する。	

秋の全国交通安全運動「交通安全メッセージ動画」と「飲酒運転根絶メッセージ動画」の放映

秋の全国交通安全運動が9月21日から30日までの10日間実施されました。

本年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年開催する総決起大会は中止となりましたが、啓発活動の一環として、札幌駅前大型ビジョンで、コンサドーレ・リレーションズチーム・キャプテン河合竜二さんによる交通安全メッセージと飲酒運転根絶アンバサダーの「やべーべや」による飲酒運転根絶に関する動画を運動期間中に放映し、歩行者等に交通事故防止と飲酒運転根絶を呼びかけました。

なお、河合さんからは飲酒運転根絶メッセージもいただき、これらの動画はＹｏｕＴｕｂｅチャンネルで配信しております。

札幌駅前大型ビジョンの様子

河合竜二さんからの飲酒運転根絶メッセージ

当委員会のYouTubeチャンネルはこちら

冬の交通安全運動全道統一行動日「セーフティコール」

11月12日、赤れんがプラザで、交通安全対策七者連絡会議が主催する冬の交通安全運動の全道統一行動日「セーフティコール」が開催されました。

この運動は、11月13日から22日までの10日間にわたり展開され、交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人一人の交通安全意識の高揚を図ることを目的としています。

会場では、ゲストとしてモデルやタレントとして活躍されている喜多よしかさんに、「夜光反射材を着用してのモデルウォーク」の披露や「飲酒状態疑似体験ゴーグルを付けての酩酊状態歩行」を体験していただき、最後に交通安全メッセージをいただきました。

喜多さんには大会終了後、会場に駆けつけてくれていた飲酒運転根絶アンバサダーの「やべーべや」とともに、街頭啓発にも参加いただきました。

夜光反射材を着用してのモデルウォークの様子

飲酒状態疑似体験ゴーグルを付けて「やべーべや」の所へ向う喜多さん

飲酒運転根絶宣言飲食店等の登録制度について

この制度は、飲食店及び酒類販売店等のご協力をいただきながら、飲酒運転根絶に向けて地域から盛り上げていくための取組です。現在、旭川市、函館市、帯広市のほか、今年度からは後志、胆振、留萌管内で各地の皆さんとともに、宣言店の募集を行っています。宣言店として登録された場合には、「登録証」「啓発資材」を提供させていただくほか、当委員会のホームページなどでご紹介していきます。

飲酒運転根絶宣言店ステッカー

「飲酒運転根絶宣言の店」
ミニのぼり

今後とも皆さんと一緒に改めて新型コロナウイルス感染症対策と、飲酒運転根絶を呼びかけていくこととしています。登録制度の詳細については、当委員会までお問合せください。

北海道から飲酒運転を根絶!! 学生PR動画コンテスト実施中！

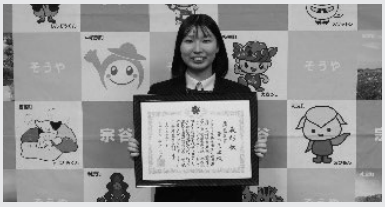
未だになくならない飲酒運転。北海道から飲酒運転を根絶する、その願いを道民みんなで実現していくため、大学や専門学校に通う学生を対象にPR動画コンテストを実施しています。これは今年度から始めた取組で、高校生メッセージコンクールとともに若い方々の思いを社会に届けながら、安全・安心な北海道をつくっていくものです。

QRコード

令和3年　飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール

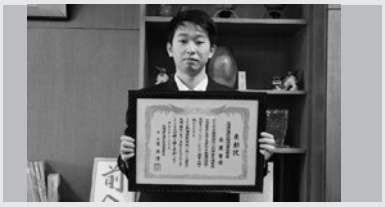
このコンクールは道内の高校生を対象に、お酒を飲まない高校生の視点から飲酒運転根絶メッセージを作成してもらい、ラジオやＨＰ等を活用し、その親の世代をはじめとした道民に広く発信することにより、家族等で飲酒運転根絶に向けた気運を高めるとともに、近い将来運転免許を取得し、ドライバーになる高校生が自ら飲酒運転について考える契機を与えることで、高い規範意識を養うことを期待し募集しました。

９月から 10 月の２カ月の募集期間に 1,164 作品の募集があり、厳正な審査の結果、北海道知事賞、北海道教育委員会教育長賞、北海道警察本部長賞、札幌市長賞、北海道交通安全推進委員会会長賞、北海道交通安全協会会長賞、北海道安全運転管理者協会会長賞、飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」特別賞の８点が決定しました。


北海道知事賞

北海道教育委員会教育長賞

札幌市長賞


北海道交通安全推進委員会会長賞

北海道交通安全協会会長賞

北海道安全運転管理者協会会長賞

※1月6日現在写真提供のあった受賞者を掲載しております。

令和3年　飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール受賞作品

■北海道知事賞

（敬称略）

メッセージ内容	学校名・学年	氏　名
飲酒運転を「する」あなたも、「させる」あなたも、「止めない」あなたも、みんな"同罪"。あなたの「ちょっとストップ。」そのブレーキひとつで守られる命がある。起こさせてはいけない。起こしてはならない。未然に防ごう、飲酒運転。	稚内大谷高等学校（２年）	青木（あおき） 悠空（ゆら）

■北海道教育委員会教育長賞

失った命は戻らない、奪った事実は消せない。「戻りたい」と思っても「戻れない」。根絶目指す声に耳を傾けて。人のために、自分のために、やめよう飲酒運転。後悔しない未来へと。	北海道砂川高等学校（３年）	チーム名 ASAHi with T

■北海道警察本部長賞

一瞬の甘え　一瞬の判断　一瞬の行動　一生の後悔「あのときにこうしていれば…」を今、変えよう。過去は変えられないけれど、未来はあなた次第。やめよう。飲酒運転。	北海道苫小牧東高等学校（１年）	千葉（ちば） 楓加（ふうか）

■札幌市長賞

運転すると決めたら、飲まないこと。飲むと決めたら、運転しないこと。ルールを守れないなら、運転をやめよう。取り返しのつかなくなる前に。人のために。自分のために。みんなでなくそう飲酒運転。	札幌山の手高等学校（１年）	正木（まさき） 樹音（じゅのん）

■北海道交通安全推進委員会会長賞

１人の意識では変わらない、なくならない、そんな飲酒運転もみんなの意識が１つになればきっと変わるはず。全員で安全な未来をつくっていこう。意識しよう。そしてなくそう飲酒運転。	北海道富良野高等学校（１年）	後藤（ごとう） 響（ひびき）

■北海道交通安全協会会長賞

「一杯どうぞ」の誘いを断る強い意志。少しの油断が大きな罪につながる。大切な「命」、大切な人の「笑顔」、「夢ある私たち」を守るためにも、お願い、しない、させない　飲酒運転。	北海道稚内高等学校（２年）	藤田（ふじた） 菜々美（ななみ）

■北海道安全運転管理者協会会長賞

今、大切なことは何ですか？車で早く家に帰ることですか？自分や他人の命ですか？しっかり考えよう。飲酒運転をやめよう。軽はずみな行動が未来を大きく変えてしまうから。	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校（１年）	家守（やもり） 紗彩（さあや）

■飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」特別賞

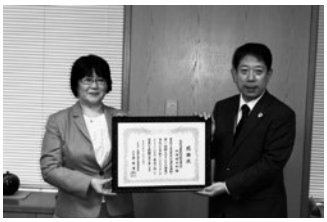
酒を飲んだら運転しない、それだけの事なのに、何故守れないのか、「自分は平気」とでも思っていたのか、そのせいで自分の人生を棒に振ることを知っているのに、人々の命と未来を守るためにも絶対に許すな、飲酒運転。	北海道札幌視覚支援学校（高等部１年）	小笠原（おがさわら） 啓介（けいすけ）

皆様からのご支援、ありがとうございました。

建設産業交通安全推進北海道本部

八剣山パークゴルフ場

一般社団法人空知建設業協会


全国共済農業協同組合連合会北海道本部

（敬称略）

受領月	寄付者名	種類	区分	寄付金額(単位:円)
7月	全国共済農業協同組合連合会北海道本部	特定	寄付	681,956
	八剣山パークゴルフ場	特定	寄付	93,521
	株式会社アペックス	特定	寄付	11,489
8月	ライダーズミーティングin寿都実行委員会	特定	寄付	100,000
	手島　伸夫	特定	寄付	5,000
	石部　雅敏	特定	寄付	10,000
9月	一般社団法人空知建設業協会	特定	寄付	219,000
	植村　泰也	特定	寄付	2,000
	一般社団法人札幌地区トラック協会南空知支部	特定	寄付	50,000
	美幌交通安全母の会	特定	寄付	6,500
	建設産業交通安全推進北海道本部	特定	寄付	1,000,000
10月	匿名	特定	寄付	10,000
	植村　泰也	特定	寄付	2,000
	根室市交通安全推進協議会 根室市交通安全指導員会	特定	募金(黄色い羽根)	15,815
11月	訓子府町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	4,589
	砂川地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,911
	弟子屈地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	939
	ニセコ町内各自治会(46団体)	特定	募金(黄色い羽根)	108,530
	富良野市交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	3,075
	北海道銀行手稲支店	特定	募金(箱募金)	2,567
	中富良野町生活安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	1,631
	札幌中央信用組合山鼻支店	特定	募金(箱募金)	1,579
	札幌中央信用組合美香保支店	特定	募金(箱募金)	76,593
	札幌中央信用組合南郷支店	特定	募金(箱募金)	5,371
	東神楽町役場	特定	募金(箱募金)	1,348
	斜里地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	5,381
	中標津地方交通安全協会連合会	特定	募金(箱募金)	7,053
	倶知安地方交通安全協会連合会	特定	募金(箱募金)	1,821
	北海道銀行北二十四条支店	特定	募金(箱募金)	2,359
	北海道銀行札幌駅北口支店	特定	募金(箱募金)	1,030
	札幌中央信用組合平岡支店	特定	募金(箱募金)	2,410
	札幌中央信用組合発寒支店	特定	募金(箱募金)	2,425
	枝幸町役場	特定	募金(箱募金)	1,946
	札幌北交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,309
	一般社団法人網走地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,066
	広尾地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	3,464
	北海道信用金庫光星支店	特定	募金(箱募金)	1,245
	札幌中央信用組合北支店	特定	募金(箱募金)	3,827
	松前地区交通安全協会連合会	特定	募金(箱募金)	11,091
	幕別町役場	特定	募金(箱募金)	1,238
	新篠津村農業協同組合	特定	募金(箱募金)	1,787
	江差町交通安全運動推進協議会	特定	募金(箱募金)	2,503
	北広島市交通安全運動推進委員会	特定	募金(箱募金)	1,444
	江別地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	4,984
	後志地区交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	2,105
	北海道信用金庫本店営業部	特定	募金(箱募金)	6,198
	北央信用組合澄川支店	特定	募金(箱募金)	4,992
	共和町交通安全運動推進委員会	特定	募金(箱募金)	10,641
	遠軽地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,341
	美幌町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	3,486
	南幌町交通安全運動推進協議会	特定	募金(箱募金)	2,576
	北海道銀行麻生支店	特定	募金(箱募金)	1,436
	北海道銀行星置支店	特定	募金(箱募金)	1,773
	斜里町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	1,162
	赤平交通安全協会	特定	募金(箱募金)	3,000
	夕張市交通安全市民運動推進委員会	特定	募金(箱募金)	1,535

受領月	寄付者名	種類	区分	寄付金額(単位:円)
11月	北海道銀行本店営業部	特定	募金(箱募金)	2,113
	芦別交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,200
	新ひだか町交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	3,404
	八雲町交通安全運動推進委員会	特定	募金(箱募金)	35,165
	遠軽町役場	特定	募金(箱募金)	2,631
	北海道銀行琴似支店	特定	募金(箱募金)	2,438
	稚内地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	3,359
	一般社団法人函館方面交通安全協会	特定	募金(箱募金)	3,106
	弟子屈町交通安全運動推進協議会	特定	募金(箱募金)	4,803
	北海道銀行東札幌支店	特定	募金(箱募金)	1,058
	釧路市役所	特定	募金(箱募金)	2,312
	一般社団法人岩見沢地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,021
	札幌西交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,527
	オホーツク地区交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	1,631
	一般社団法人旭川方面交通安全協会	特定	募金(箱募金)	4,609
	石狩市交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	4,300
	全国共済農業協同組合連合会北海道本部	特定	寄付	681,956
	美唄市交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,643
	一般社団法人釧路方面交通安全協会	特定	募金(箱募金)	4,028
	厚岸地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	7,081
	三笠市交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	1,000
	函館市交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	1,097
	札幌手稲交通安全協会	特定	募金(箱募金)	1,456
	留萌地区交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	1,205
	北海道銀行薄野支店	特定	募金(箱募金)	3,529
	当麻町交通安全母の会連合会	特定	募金(黄色い羽根)	10,136
	一般財団法人静内地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	3,014
	富良野地方交通安全協会	特定	募金(箱募金)	12,800
	一般社団法人苫小牧地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	4,394
	北海道銀行室蘭支店	特定	募金(箱募金)	1,235
	秩父別町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	1,225
	遠別町交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	1,359
	興部地区交通安全協会連合会	特定	募金(箱募金)	1,284
	一般社団法人紋別地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,900
	利尻富士町役場	特定	募金(箱募金)	1,171
	一般社団法人千歳地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	14,284
	一般社団法人美幌地区交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,869
	一般社団法人美幌地区交通安全協会	特定	寄付	10,000
12月	宗谷地区交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	1,118
	根室交通安全協会	特定	募金(箱募金)	2,335
	檜山地区交通安全推進協議会	特定	募金(箱募金)	2,113
	江別市交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	7,744
	植村　泰也	特定	寄付	2,000
	平取町交通安全推進委員会	特定	募金(箱募金)	6,905

こうつうあんぜんたんぼう
交通安全探訪

旭川市
（上川総合振興局管内）

ストップ・ザ・交通事故!!
～めざせ 安心で安全な旭川～

旭川市は、北海道そして上川盆地のほぼ中央に位置し、古くからアイヌの人々の営みと開拓の歴史によって、今日の旭川の基礎が築かれました。

以来、交通の要衝・物流の拠点として発展し、現在は北北海道の拠点都市として医療施設、教育施設、文化施設、公的機関などの都市機能が充実しています。

産業としては、我が国の食糧供給に重要な役割を担う稲作等の農業や食料品、紙パルプなどの製造業、旭川家具をはじめとした木工、機械金属などのものづくり産業が集積しているほか、北北海道の交通・物流の拠点として、卸・小売業、サービス業などが発展しています。

また、全国的にも知名度が高い旭山動物園やパウダースノーが心地良いスキー場などに、国内外から多くの観光客を迎え入れています。

交通安全の取組

本市では、4期40日の交通安全市民総ぐるみ運動の一環として、期別広報紙の各町内会への配布や市内一斉パトライト作戦などを各地区市民委員会の協力により実施しています。

また、悲惨な飲酒運転による事故を一件でも減らすため、毎月飲酒運転根絶見廻り隊による啓発活動を交通安全指導員とともに市内のアルコールを扱う商業施設やスーパー等で実施し、一人でも多くの市民に飲酒運転根絶をPRしています。

このほかに、毎年夏の交通安全運動期間に合わせて、市民一人一人が交通安全の誓いを新たにし、交通事故のない安全で安心な社会を実現するため、旭川市交通安全市民大会を開催しています。平成29年からは、上川総合振興局による飲酒運転根絶の日上川地区決起大会と旭川市交通安全市民大会を合同で開催し、令和3年も昨年同様新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会規模等を工夫して開催し、本市を本拠地とするプロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」に飲酒運転一日アンバサダーに就任していただき、大会終了後には、選手の皆様と旭川駅前において街頭啓発を行い、交通安全と飲酒運転根絶を呼びかけました。

また、交通安全教育として子どもから高齢者までを対象に交通安全教室を実施しています。主な交通安全教室として、着ぐるみや腹話術人形を使用した未就学児対象の巡回教室、新入学児童の交通事故防止のため、実際の通学路を歩きながら安全な歩行を指導するわかば教室、車両を使用し実験形式で行うダミー実験会、警察や関係機関の協力を得ながら実施している高等学校交通安全教室、町内会や老人クラブ等で高齢者対象の交通安全教室などを実施し、市民の交通安全意識の高揚を図るとともに交通ルールやマナーの教育を行っております。

新型コロナウイルスの影響を受けて、従前の形式の啓発や教室の実施は難しい状況ですが、人との距離を取って行う旗の波街頭啓発やHP・フェイスブック等のSNSによる情報発信、上川総合振興局と協力して飲酒運転根絶啓発動画の作成、市内のデジタルサイネージを利用した放映等によるコロナ禍の啓発活動や、実際に対面で実施する交通安全教室にできる限り近い指導になるよう各交通安全教室の指導内容を撮影したDVDを作成し貸出するなど、様々な手法により交通安全教育を途切れさせることなく交通安全活動に取り組んでいます。

交通死亡事故ゼロ最長記録達成

令和2年9月24日、市内の交通死亡事故ゼロ230日を達成し、過去最長記録を更新しました。令和3年も交通死亡事故ゼロ200日を達成し、公益社団法人北海道交通安全推進委員会から表彰状をいただきました。残念ながら最長記録更新を目前に10月5日に痛ましい死亡事故が発生しましたが、この記録は市民の交通安全に対する心がけや各関係機関・団体による地道な交通安全活動の積み重ねが実を結んだものであります。

今後も、市民一人一人が交通安全を意識し、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない、交通死亡事故のない「安全安心な旭川」を目指してまいります。

交通安全わかば教室

飲酒運転根絶の日上川地区決起大会・
旭川市交通安全市民大会

交通安全推進員の声

日高地区
交通安全推進員
小川　千春

思いやりの心で安全運転を！

交通安全推進員として4年目になりました。

この仕事に就く前と今とでは、交通安全に対する意識が高くなったことに感謝の気持ちでいっぱいです。

私には小学生と中学生の子供がいます。子供が交通事故に巻き込まれる悲しいニュースを見る度に他人ごとではないと胸が痛みます。

先日、子供と3人で散歩中に、少し離れた所で、横断歩道を渡ろうと押しボタンを押した方が見えました。車側の信号は赤に変わりました。しかし、信号が変わった事も人が渡りかけている事にも気づかずに車が通過していきました。幸い歩行者の方は無事でした。

それを見て私は子供に「今の見たかい？赤信号でも車が見落としてしまう時がある。車が来ているのが見えたら、止まってくれるものだと思わずに、必ず車が止まったのを自分の目で確認してから横断歩道を渡らないとダメだよ‼」と言いました。

この体験は、子供達、そして車を運転する私自身も気を付けなければならないと改めて思う出来事でした。

コロナ禍で例年通りの啓発や研修などが出来ないのが現状ですが、悲惨な交通事故がひとつでもなくなるように、交通安全推進員として何が出来るのかこれからも考えていきたいです。

～ハンドルを握るときは、急いでいたり考え事があると注意散漫になりがち。気持ちを切り替えるためにも一呼吸。そしてちょっとした心がけと思いやりのある運転を常に意識して安全運転～

オホーツク地区
交通安全推進員
田中　美千代

「飲酒運転根絶を目指して」

「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」が平成27年12月に施行されました。

毎年7月13日の「飲酒運転根絶の日」には、全道各地で決起大会が開催され、飲酒運転による交通事故で犠牲になった方々に哀悼の意を表すと共に、「飲酒運転をしない、させない、許さない」を改めて誓う日でもあります。

令和2年度に当地区で開催しました「飲酒運転根絶に関する研修会」で、飲酒後の時間経過における体内のアルコール残量と主観的な酔いの感覚の関係について検証実験を行ったＤＶＤを視聴しました。

それによりますと、日本酒3合程度の飲酒から5時間後、参加者の多くから呼気中アルコール、尿中アルコールが検出された一方で、全員が「いつも通り運転できる」または「やろうと思えばできる」、「もう酔いが冷めた」と感じていた結果となり、体内のアルコール残量と主観的な酔いの感覚の間に大きなズレが生じていたことがわかりました。

実際は、日本酒3合程度のアルコールが体内で分解されるまで9～12時間かかると言われています。

「意識がはっきりしているから」「睡眠をしっかりとったから」という主観的な感覚で体内のアルコールが分解されたと判断してはいけないと知り、今はお酒に含まれるアルコール度数や飲酒量を意識するようになりました。

「少しならいいだろう」「自分は大丈夫」「今まで無事故だから」という甘い考えや自信過剰な行動の先に、深い悲しみ、重い代償があることを忘れてはいけません。

「飲酒運転はダメ」。飲酒運転根絶の実現へ向け、これからも家族や友人、職場や地域で折に触れて呼びかけていきたいと思います。

交通事故死ゼロ運動顕彰

8月	9月	10月	11月	12月	1月【予定】
3000日▶木古内町	4000日▶上砂川町	1500日▶網走市	6500日▶京極町	4500日▶利尻町	4000日▶歌志内市
1500日▶弟子屈町	1000日▶中札内村	1000日▶浦河町	700日▶栗山町	3000日▶上士幌町	真狩村
1000日▶猿払村	700日▶南幌町	名寄市	壮瞥町	1500日▶八雲町	2000日▶東神楽町
700日▶伊達市	新得町	700日▶新ひだか町	松前町	1000日▶北広島市	1500日▶厚岸町
中川町	釧路町	様似町	大空町	増毛町	1000日▶浜中町
500日▶共和町	500日▶恵庭市	留萌市	500日▶赤井川村	稚内市	浦幌町
300日▶赤平市	えりも町	500日▶奈井江町	奥尻町	500日▶標茶町	700日▶夕張市
	標津町	留寿都村	美深町	300日▶江別市	安平町
	200日▶江別市	鷹栖町	浜頓別町		500日▶鹿追町
	旭川市	300日▶千歳市	津別町		
		北斗市	300日▶美唄市		
		根室市			

渡島地区 …… 森町

森町では、森町交通安全母の会主催で、夏の交通安全運動期間中に「旗の波」を実施しました。国道278号線を行き交う車両を道の駅駐車場へ誘導し、啓発グッズを配布しました。交通事故のない「安全で安心な森町」づくりのために、今後も、町民をはじめとした、関係機関・各関連団体と連携し、一人ひとりの交通安全意識の高揚を図っていきます。

石狩地区 …… 恵庭市

恵庭市では、冬の交通安全運動期間中、通勤・通学時間にあわせて、自衛隊や各町内会・老人クラブ等のご協力の下、交通安全を呼びかける街頭啓発を行いました。

通学路上にて、特に交通量の多い交差点や信号のない交差点、踏切等、事故が発生しやすい箇所で重点的に啓発を行い、児童・生徒の安全確保に努めました。

釧路地区 …… 釧路町

釧路町連合町内会が秋の全国交通安全運動の取り組みとして、地域の子どもたちの安全のために、学校付近の交差点に「とまれ」が目印のストップマットの貼り付けを行いました。

学校に通う子どもたちは「とまれ」を目印に待つ様子がうかがえ、より安全な通学路に生まれ変わりました。

十勝地区 …… 十勝総合振興局

十勝総合振興局では例年9月から11月までの3か月間「交通事故死ストップ十勝百日作戦」を展開しています。期間中は農作物等の輸送繁忙期を迎え、秋の行楽シーズンも重なり交通量が増加、重大事故が多発する傾向にあります。市町村や関係機関・団体と連携を図りながら、悲惨な交通死亡事故を無くすため様々な計画を実施しています。

2022年 謹んで新春のお慶びを申し上げます

北海道交通安全指導員連絡協議会
会長 塚田 茂男
札幌市中央区北五条西六丁目 第二道通ビル六階
電話 FAX (〇一一) 二四一—一二二二番

一般社団法人 **北海道指定自動車教習所協会**
会長 相馬 純一
札幌市中央区北九条西十八丁目
電話 (〇一一) 六三三—七三二〇番

札幌駐車協会
会長 岩波 剛
札幌市中央区北一条西二丁目二 北海道経済センタービル内
電話(〇一一)二三二—五五五四

保険のことなら互助サービスへ！
●生命保険 ●医療保険 ●自動車保険
●ゴルフ保険 ●旅行保険

㈱北海道互助サービス
〒060-0003 札幌市中央区北三条西七丁目一緑苑ビル二階
電話 (〇一一) 二七一—四二七七番
FAX (〇一一) 二二二—四七五三番
ホームページ https://www.goiyo-s.co.jp
Eメール info@goiyo-s.co.jp

一般社団法人 **日本自動車販売協会連合会 札幌支部**
支部長 中島 好美
札幌市東区北二十八条東一丁目 札幌自動車会館内
電話 (〇一一) 七五三—五一六二番(代)

優勝カップ・トロフィー・メダル・楯・バッジ・旗

表彰・記念品専門店
株式会社オリジナルHOTTA
代表取締役社長 堀田 真理
〒060-0031 札幌市中央区北1条東9丁目11-46
TEL (011)211-4147 FAX (011)211-4148
E-mail:o-hotta@agate.plala.or.jp
http://www.o-hotta.com

株式会社 サン高千穂
安全対策用品の企画・デザイン・制作・販売
日本反射材普及協会会員
代表取締役 江尻 剛
〒003-0027 札幌市白石区本通十六丁目北一—二十
電話 (〇一一) 八六五—二三四四(代)
FAX (〇一一) 八六五—四四五〇番
ホームページ：http://www.sun-takachiho.co.jp

「交通安全」と「食の安全」を目指す
うさぎ印パン粉
横山食品株式会社
取締役会長 横山 末雄
〒003-0029 札幌市白石区平和通14丁目北4番1号
電話 (〇一一) 八六四—七四一一
FAX (〇一一) 八六四—七一一〇

岩田地崎建設株式会社
代表取締役社長 岩田 圭剛
札幌市中央区北二条東十七丁目

交通安全、建設安全、防災、
防犯、福祉、人権、消費者、
環境の映像教材販売

http://www.planproduce.co.jp

有限会社
プラン・プロデュース
札幌市中央区大通東２丁目３番
TEL 011－219－2311

交通安全指導員制服製造
相合縫製株式会社
代表取締役 笠原 祥史
〒003-0026 札幌市白石区本通十丁目南七番九号
電話 (〇一一) 八六四—一九五三番
FAX (〇一一) 八六四—一九五四番
ホームページ http://www.step-u.com
Eメール info@step-u.com

---

novello
TOTAL COMMUNICATION
代表取締役社長
齊藤 辰夫
株式会社ノヴェロ
〒060-0052 札幌市中央区南2条東3丁目
電話 011-281-6631
FAX 011-221-2073
ホームページ
http://www.novello.co.jp

NTT DATA
Trusted Global Innovator

株式会社 NTTデータ北海道

代表取締役社長　梶　保夫

札幌市中央区北2条西4丁目1番地　北海道ビルヂング4階
Tel：011-281-7002
URL：https://www.nttdata-hokkaido.co.jp/

あ
譲げる

おかげさまで
創業68年
本年も印刷で
上げていきます

令和四年
謹賀新年

白馬堂印刷株式会社

代表取締役会長　花井　馨
代表取締役社長　名畑　裕敏

本　　社／〒064-0823 札幌市中央区北3条西25丁目
TEL.011-621-1471　FAX.011-621-8551
発寒工場／〒063-0829 札幌市西区発寒9条14丁目516
TEL.011-665-8881　FAX.011-669-2656

「IT」で「幸せ」に挑む。

HBA

株式会社HBA

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目1番地8
TEL：011-231-8301　FAX：011-281-0915
www.hba.co.jp

令和４年１月号

公益社団法人 北海道交通安全推進委員会

札幌市中央区北５条西６丁目第二道通ビル６階　電話（011）221-6666　FAX（011）221-7873

URL: https://www.slowly.or.jp
e-mail: safety@slowly.or.jp　　YouTubeチャンネル▶